

## 陸前高田市で「さんすう体感イベント」を開催

陸前高田市教育委員会後援

さんすうを体感?! 体を使って学ぼう!

公益財団法人日本数学検定協会（所在地：東京都台東区、理事長：清水 静海）は、「さんすう体感イベント」（共催：岩手県における学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生推進委員会、後援：陸前高田市教育委員会）を、2014年11月9日（日）、岩手県陸前高田市の陸前高田市立第一中学校体育館で開催いたします。

このイベントは、子どもたちの数学および算数力の向上につなげるために、算数を体を使って感じることで算数への興味関心を高めることをねらいとしています。

今回は、陸前高田市の子どもたちのために、振り付け師の南流石さんをお呼びし、抽象的な「算数」を身近な「運動」に置き換えることで、算数をイメージする力をトレーニングするプログラムを用意しています。

当協会は、主たる公益事業である「実用数学技能検定（算数検定・数学検定）」の実施のほかに、今後も本企画のような広く国民のみなさまに算数・数学を学習する大切さや、楽しさを伝える啓発事業を充実させていく所存です。

◆◆◆取材のお申し込み・お問い合わせ先◆◆◆

公益財団法人 日本数学検定協会

担当 高田

E-mail : [info-lesson@su-gaku.net](mailto:info-lesson@su-gaku.net)

電話 03-5812-8340 FAX. 03-5812-8346

## 【「さんすう体感イベント」開催要項】

大会名称：さんすう体感イベント

主催：公益財団法人 日本数学検定協会

共催：岩手県における学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生推進委員会

後援：陸前高田市教育委員会

協力：有限会社 流石組

開催日：2014年11月9日(日) 14:00～15:45

開催場所：陸前高田市立第一中学校体育館（岩手県陸前高田市高田町字鳴石5-1）

参加対象：陸前高田市内の小学校の在学および保護者

持ち物：縄跳びロープ

ゲスト：南流石氏（振り付け師）

幼少期より、モダン、クラシック、ジャズ、アクロバットなど様々なジャンルのダンスにいそしみ、16歳より指導者となる。プロダンサーとして活躍するも、ジャンルを越えた自身のオリジナルダンスの確立をめざし、ストリートで「パフォーマンス」を行い注目を集める。その後、数多くのCMやアーティストに振り付けの演出を提供し現在に至る。また「0-100プロジェクト」と称し、国内外で乳幼児から高齢者までの0歳から100歳に向けたモーションプログラムを展開中。

## 【プログラム】

13:30～14:00 受付

14:00～14:10 算数体感準備ダンス

14:10～14:20 競技1 ぴったり徒競走

14:20～14:40 競技2 かたっち取りゲーム

14:40～15:00 休憩

15:00～15:20 競技3 重さりレー

15:20～15:30 競技4 たえろ30秒

15:30～15:40 競技5 みんなで30m

15:40～15:45 閉会式

プログラム内容は当日変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

## 【競技内容】

算数体感準備ダンス（所要10分）

このプログラムは最初の準備運動です。算数を体感させるということで、数字、数、形、時間といったものを準備運動と組み合わせました。このプログラムはいろいろなイベントのアイスブレイクや導入時に行うと効果的です。

競技1. ぴったり徒競走（所要時間20分）

距離と時間に焦点を当てたプログラムです。これにより速さを体感させることもできます。

競技2. かたっち取りゲーム（所要時間20分）

形の基本である○、△、□を取り入れたゲームで、椅子取りゲームに似ています。体を動かしながら形

を認識することをねらいとしています。

### 競技3. 重さリレー (所要時間 20分)

量り売りなどを体感することが少なくなると重さの感覚が鈍ってきます。この競技を通じて重さを体感させることがねらいです。

### 競技4. たえろ 30秒 (所要時間 10分)

時間を意識しながら持久力を競うことをねらいとしています。

### 競技5. みんなで 30m (所要時間 10分)

チーム全体で協力しながら、正確に長さを測るにはどうすればいいかを考えてもらうことがねらいです。

## **【実用数学技能検定について】**

「実用数学技能検定」(後援＝文部科学省)は、数学・算数の実用的な技能(計算・作図・表現・測定・整理・統計・証明)を測る検定で、公益財団法人日本数学検定協会が実施している全国レベルの実力・絶対評価システムです。おもに、数学領域である1級から5級までを「数学検定」と呼び、算数領域である6級から11級、かず・かたち検定までを「算数検定」と呼びます。第1回を実施した1992年には5,500人だった受検者数は、2006年以降は年間30万人を超え、実用数学技能検定を実施する学校や教育機関も15,000団体を超えました。以来、累計受検者数は400万人を突破しており、いまや数学・算数に関する検定のスタンダードとして進学・就職に必須の検定となっています。日本国内はもちろん、フィリピンやカンボジア、インドネシアなどでも実施され(過去5年間で延べ20,000人以上)、海外でも高い評価を得ています。

## **【法人概要】**

法人名：公益財団法人 日本数学検定協会

所在地：〒110-0005 東京都台東区上野5-1-1 文昌堂ビル6階

理事長：清水静海(帝京大学教育学部初等教育学科長・教授)

会長：甘利俊一(理化学研究所脳科学総合研究センター 特別顧問、東京大学名誉教授)

設立：1999年7月15日

事業内容：(1) 数学に関する技能検定の実施、技能度の顕彰及びその証明書の発行

(2) ビジネスにおける数学の検定及び研修等の実施

(3) 数学に関する出版物の刊行及び情報の提供

(4) 数学の普及啓発に関する事業

(5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業